

宝塚第一小学校教育環境適正化検討委員会
第2回 会議概要

開催日時	令和5年(2023年)4月26日(水) 10:00~11:45
開催場所	宝塚第一小学校 視聴覚室
出席者	【委員】20名 【教育委員会事務局】6名
次第・議事	1 開会 2 事務局の紹介(学事課で人事異動があったため) 3 前回国議からの報告事項 4 議題 (1)宝塚第一小学校の学校規模適正化について (2)その他 5 閉会
会議の主な結果	・通学区域の弾力的運用の議論を進めていく。 ・今の段階でアンケートを行うのは時期尚早。必要があれば、時機を見て実施する。 ・5月に第3回目の会議を開催し、通学区域の弾力的運用の具体的な話をしていく。
会議録(要旨)	
副委員長	<p>【1 開会】</p> <p>【2 事務局の紹介】 委員長あいさつ</p> <p>【3 前回国議からの報告事項】 前回国議からの宿題があったと思うので、事務局から回答をお願いする。</p>
事務局	<p>① 平成22年当時の議事録について 「宝塚第一小学校校区見直しに関する保護者説明会について(報告)」が当時の議事録で、この場限りの資料として、外に出ないように取扱い注意をお願いしたい。</p> <p>② 0.13の発生率について 0.13という値は、宝塚第一小学校校区にマンションが建設された際、当該校に入学した児童数の平均値である。この0.13が正しいとか正しくないというのではなく、今回開発されるマンションにこの値を使うのかどうかを議論していただきたい。他に、入学児童数の見込み値を算出できるものがあれば、それを活用してもらっても構わない。</p> <p>③ ジオタワーの発生率について 調べたが、算出できなかった。</p> <p>④ 仮設校舎を含め、増改築しない理由について 増築となると、今の校舎の階数を増やすとか、空きスペースに校舎を建てるとかが考えられるが、階数を増やすと、校舎の耐震性が低下することから、児童の安全面から現実的ではないと考える。また、校舎を増やすと、児童数が増えることになり、運動場が狭くなるとか、今課題として挙がっているものの解決にならないと考える。 以上が前回の会議で指摘があった分の回答になる。あと、参加委員からの申し入れ事項について回答する。</p> <p>① 校舎を増改築した場合の費用について 普通教室を1つ追加した場合の費用は、およそ2,400万円。この数字は普通教室を</p>

	<p>1つ作る場合の金額で、廊下とかは別途費用がかかる。概算の金額であるため、参考程度にしていきたい。</p> <p>そして、プレハブ校舎を増やす場合、直近でプレハブ校舎を建てた事例を参考にすると、6年間のリース契約でおよそ3,160万円。これは平屋で2教室の費用になるため、階数を増やすとなると、その分が加算されることになる。また、最近の資材高や人件費の上昇で上振れることが予想される。</p> <p>② 検討委員会の事務局の関わりについて</p> <p>事務局には地域の方々に寄り添った形でご尽力いただきたいとの申し入れもいただいている。地域の方々に寄り添いながら、丁寧な説明に努めて、この会を運営していきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。</p>
副委員長	事務局から回答があったが、質問はあるか。
委員	今の後半の説明は理解しがたい。前回の会議で皆さんが申し上げたことは、増改築ができないかということである。1クラスといたら67㎡、それを1棟で立てて工事費がいくらかかるか。そして、国の補助、起債、市の負担金がどれくらいかかるかということを知りたいのであって、そこが分からないと議論はできない。
委員長	今日は前回の質問に答えてもらった。教育委員会から今後の方針を出してもらい、その上で、今、報告してもらった内容をこれから議論していくでよいと思う。
副委員長	教育環境の適正化の方法について、短期的・中期的・長期的な話があって、校区変更は長期的な話、中期的には校舎建て替えの話もあると思う。今日は、短期的な方法として、まず何ができるか、今年・来年何ができるかについて、本日は焦点を当てて話をしたい。できれば、今の質問についてもこれで打ち切らせてもらい、本日の資料の説明をお願いしたい。
事務局	<p>【4 議題】</p> <p>(1)宝塚第一小学校の学校規模適正化について</p> <p>3～4ページの資料に基づき説明を行う。</p>
副委員長	先ほど申し上げた短期・中期・長期の方法のうち、短期の説明である。質問はあるか。
事務局	<p>5ページの資料の説明を補足する。「宝塚第一小学校町丁別学年別児童数」は、令和5年度在籍している児童数に基づいて作成したものである。表の1～8が周辺校と隣接している地域で、9以降が一小校区の中心部の地域になる。</p> <p>以上が、資料の説明である。</p>
副委員長	これを実施しようと思えば6月ぐらいから実施していかないといけないので、実施す

	<p>るのであれば、今日ぐらいで実施することの基本合意ができればと考えている。実施しないのであれば、来年に延びていくことになる。</p>
委員	<p>短期的というのはどれぐらいの期間を想定しているか。</p>
事務局	<p>今年度中に取り組んで、令和6年度から実施した場合を想定している。</p>
副委員長	<p>令和6年度から実施するためには、令和5年度から動いていかないといけないということか。</p>
事務局	<p>その通りである。</p>
委員	<p>短期というのはスケジュール感ということか。これでどれぐらいの児童が動くことを想定しているか。例えば、小学校2年生で他の学校にいったら、その子は5年間その学校に通学することになる。子どもの教育期間から見て短期ってどれくらいなのかを聞いたかった。</p>
副委員長	<p>短期というのは、議論の仕方が短期というだけである。</p>
委員	<p>それは理解している。それを決めたら永遠に続くということか。いつまでそういうことを続けるのか聞きたい。</p>
事務局	<p>その期間も含めてこの場で議論していただけたらと思う。将来的な状況がつかめていない中で、期限の設定は難しいと思うが、一旦5年とし、検証してから延長するという方法もあるし、最初から期限を設けずに、どこかの段階で止めると決めるのも一つの方法と思う。</p>
委員	<p>弾力的運用について、宝塚第一小学校に限るのかということと、公共交通機関を利用する場合は、保護者負担と記載されているが、補助等について考えているか。</p>
事務局	<p>宝塚第一小学校の過大規模校を解消することが目的のため、対象は当該校に通学するお子さんになる。周辺校に通学するお子さんは宝塚第一小学校に通学することはできない。あと、通学に要する経費について、国の基準では、小学校は4km以上、中学校は6km以上の場合、通学の手段を講じるとあるが、自己都合になるので、基本的に保護者の負担でお願いすることになる。</p>
委員	<p>一小的児童数が多いから、他の学校に行けると市が提案している。自主的とは少し違う感じがして、市からの何かしらの負担も必要では。遠くの学校に行かせてあげるが、行く交通費はあなたたちで払ってください、行く責任もあなたたちでとなれば、保護者の負担が増えるだけで、保護者も納得しないと思う。</p>

委員長	この問題で一番大きいのは、800人規模の学校に児童数が1,100人ほどで、300人定員オーバーしている状態だが、この問題をずっと子どもたちに負担させていいのかということである。費用の問題もあるが、この環境を我々で解決していかないと、いつまでたっても解決しないままである。ですから、その辺りを議論していただけたらと思っている。
委員	だから、そこを自己都合、自己負担というのはどうなのかなと思っていて、多少なりとも。
委員長	希望しなければ他校に行かなくてよいと思う。そこは選択制で、行けと言っているわけではないので。今は費用の問題を考えるよりも、まずはスキームのことを考えていく必要がある。
委員	資料の説明で周辺校と隣接している地域の話があったが、それぞれどの学校と隣接しているか教えてもらいたい。中州1・2丁目は末広小か。そういう風に教えてもらえたら。
事務局	中州1・2丁目は末広小、逆瀬川2丁目、野上1・2丁目、宝梅1丁目、寿楽荘が西山小、宝松苑が逆瀬台小と一部西山小になる。
委員	希望する場合は、この近隣校に行くことができるということか。
事務局	行く学校を限定する方がいいのか、限定しない方がいいのか、皆さんの中で議論していただけたらと思う。
委員	末広小と逆瀬台小はまだ空きがあると思うが、西山小は定員ぎりぎりと思う。そこも考えないと。
委員	隣接する地域の人だけが移動対象か。それも検討する必要があると思うが。
事務局	地域を限定するのか、宝塚第一小学校区全域を対象とするのか、この中で議論していただけたらと思う。
委員	寿楽荘自体がどこの小学校に一番近いのか。
事務局	寿楽荘も場所によって距離が全然違うので、あとは、保護者で近いのか遠いのかを判断していただくしかないと思う。
委員	南口のタワーマンションができる時に、美座小に行くというようなこともあったので、この分け方もいまいちかなと。

副委員長	<p>まだ各論までいっていない。各論の詰め方はあると言ってくれているので、まずは、今日、総論で学校選択制を受け入れていくかを議論したい。</p>
委員	<p>資料5 ページの1～8と9～19の説明が違うことがすごく気になる。9～19は中心部と言った。中州1丁目は線路を超えて、校舎が見える。どこをもって中心部じゃないと言うのか。そして、1～8まで足すと、370人になる。あなたたちの狙いではないか。保護者が私たちどこに行ったらいいですかと聞いた時に、おそらく1～8は外へ出て行ってくださいというようなことを心に持っているのではないか。これは自由にさせないと駄目で、中心部という言葉も使っては駄目。</p>
副委員長	<p>中心部という言葉についてすごく違和感があった。〇〇が中心部、〇〇が周辺部という言い方は、今後一切発言しないでほしい。</p>
事務局	<p>承知しました。</p>
事務局	<p>それと、1～8と9～19という分け方は、校区が隣接しているところと、校区が他校と隣接していないところという分け方である。あえてこういう分け方をしたのは、地域指定をするのかしないのか、隣接している地域だけを指定するのであれば1～8まで、そうでない場合はそれ以外の地域を。ただ、19のその他は、事情があって校区外から通っているお子さんたちである。ここは除外し、それ以外を全域とするのか指定するのか分かるように黒い線で分けただけであり、それ以外の意図は全然なく、どこかにいざなっていこうという思いもない。</p>
委員	<p>そういう意図はないと思うが、教育委員会で何人ぐらいが他校に行くかという試算数字みたいなものは持っているのか。</p>
事務局	<p>そこは見えてこない。</p>
委員	<p>こういう施策を実施する時に、このような結果になるだろうという見込みがあって、提案されたのかなと思っていた。</p>
事務局	<p>大前提として、話しておかなければいけないことがある。そもそも宝塚第一小学校区の教育環境の在り方についてのスタートは、まち協さんと教育委員会の中で、マンション開発がきっかけとなって、やはり協議していきましようかということでスタートしたものである。そういう経緯であるから、教育委員会の方から学校をどうにかしたいということではなく、また一方的な狙いでもって動いたわけではない。そのため、我々が事前に一定の政策方針を決めて、会議に望んでいるわけでもなく、皆さん方のご意見をお伺いするために情報を提供している。今回の提案も、平成28年に作った基本方針の中で、大規模校の解消方法の一般的な例として、通学路の弾力的運用や校区変更があると例示しているものを提案しているので、政策的な意図はなく、事前に調査をして見込み</p>

	<p>を持ったわけでもない。必要であれば、どれぐらいの希望者がいるか、皆さんの意見を聞きながら保護者アンケートもとれればと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>今の議論はおかしい。計画をする際には、期待値とか計画値とか色々あると思う。一小的児童数を800人がよいとするならば、極端な話、300人減らさないといけない。300人減らすという目標がなかったら適正化する意味は全くないのではないかと。児童数の期待値を1,000人にしたいのか、800人にしたいかによって施策が変わってくる。目標がないことをここで悩んで、これはできませんでしたとなつては、教育委員会さんに失礼だが、アリバイ作りでしかないと思う。僕は、一小が適正な規模になり、児童の皆さんがどこの小学校においても公平な教育を享受できるというのが基本と思っている。何人に減らすとかの目標もなく考えていくのは、おかしいと思うが、どうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>前回は住民の大反対で揉めて、市議会議員も加わり、地域全部が反対した。僕から見ても住民にも責任がある。子ども達を目線で考えずに、一小は進学校として非常にいいということで皆さんはそれを選択された。それは大人の考えであり、子ども目線では全然考えてない。市に動いてもらえなかったのだから、こちらから依頼し、これを作りましょうという立て付けになっている。なぜ、こうなっているのかというと、前回のことがあるから。今回の場合は、人数をどう減らすか、あるいは学校舎を増やすか、この二者択一しかない。マンション開発まで時間的に限られているから、僕は父兄の皆さんに末広小、西山小、逆瀬台小、どこを選択されるか、もしよかったらという立て付けで、スタートをするしかないと思っている。</p> <p>エゴとか今までの踏襲とか、全部捨てて、子ども達のためにどうすべきかを考えるべきと思っている。少し言い過ぎかもしれないが、切実に思っている。</p>
<p>副委員長</p>	<p>この学校選択制も行政として目標は作っていないと、それが駄目ということであれば、ここでその決定が出て、短期も受けないということもありうる。保護者からみれば、選択制をいれることは、それほど悪いことではないかなと個人的には思うが、どうか。その辺を議論していただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>私達も個々で話をしている短期的にはいいことだと思っている。ただ、予想以上に少ないのではと考えているが、すぐにできることにおいてはやるべきだと思っている。あと、もう一つ、タワーマンションに関して、一小校区として売り出されているが、教育委員会から、このタワーマンションは一小校区ではなく、前のタワーマンションのように美座小みたいなことを今から言えないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>タワーマンションができて美座小校区にというのは、地域の方の中で話があったかもしれないが、飛地の校区設定を具体的に設定する方向で検討したような実績は教育委員会にはない。宝塚第一小学校であれば、社町が一小校区でしたが、当該地域が開発された時に校区変更を実施した。校区の境界付近であれば、事前に校区変更というのは可能だが、今回は隣接している地域ではないので、事前に校区変更するというのはなかなか</p>

	<p>難しい。</p>
委員	<p>駅前のマンション開発について、私たちまち協と業者側で定期的に連絡会をしている。その中で、今言った話も出た。開発側は、現時点で一小校区ということが決まっているから、それは書くが、確定していないことは書けないと。</p>
委員	<p>それは都市開発の課が言ったことか。今の校区はそのまま。</p>
委員	<p>それは市がどうかではなくて、現状が一小校区だから、パンフレットにはそれを書くこと。</p>
委員	<p>それを教育委員会の方で現状はこうだからとは言えないのか。</p>
委員	<p>それを不確定である、ああいうことをやっていますことだから書けないというわけではない。</p>
委員	<p>ではなくて、不確定かどうかではなくてここできちりと示せないかということを知っている。</p>
委員	<p>マンション開発が決まるずっと以前にこういう話をしていて、校区についても決まっていれば、こう書いてくださいねと言えるが、僕らの中でまだ決まっていけないのに。</p>
副委員長	<p>今の話を整理すると、飛地案かなと思う。マンションを飛地というのもだいぶ前に議論をし、校区としていいのかどうかという総合的見地から申し入れを何度もしている。そこについて申し入れたけど、教育委員会の方から答えがないということは、それを黙認しているのかなと思う。</p>
委員長	<p>この問題は、教育委員会の問題ではなくて、都市政策の問題である。西宮市は、条例化し、受入困難地域というものをきっちり決めている。残念ながら宝塚市の都市政策はそれができていなかった。その結果として、こういうことになってしまった。なってしまった以上は、現状の問題点を、我々、住民の皆さんで解決するしかない。</p>
委員	<p>先ほどの希望者だけを移動させるという案では、一小に近い子達だけを移動させる対象になるので、取り入れても児童数はあまり変わらないと思う。それに西山小もいっぱい受け入れができないことから、子ども達が運動場でしっかり遊べる環境を作ろうと思うと、他の学校も巻き込んで、校区を変更していく方がいいのではないかなと思う。地域で同じ学校に行くとしないと、交通面でも不審者の面でもとても危ないので、同じ学校に行くようにしてもらいたいと思う。</p>
事務局	<p>この提案の仕方がもう少しうまくできればよかったが、校区変更を否定しているわけ</p>

	<p>ではなく、段階的に検討していったらどうかということで、短期的に取り組めるところから提案した。校区変更となると少し時間がかかるので、中・長期的な対応になってくる。だから校区変更の議論を今やめておこうというわけではなく、早くから対応できるものから順番に対応していきましょうと。この通学区域の弾力的運用が早期に決まれば、次の段階として校区変更も議論いただければという意味合いで、今回提案している。今のご意見だと、通学区域の弾力的運用であれば、短期的に対応可能だが、グループ登校もできないので、むしろそこは止めた方がいいという、そういう風に受け止めていいか。</p>
委員	<p>就学先の変更を求めるということで、保護者に対して事前にアンケート等は取られたか。</p>
事務局	<p>この議論が今日出たところなので取っていない。</p>
委員	<p>取ってみてもよかったのではないかと。というのもこれをPTAに説明して、保護者に書面配布してということで、初めて結果が出た時に思った以上に少ない、ほとんどいないという結果にもなりかねない。</p>
事務局	<p>この会議体にかかる前に行政側が先に動いてしまうと、この会議体の意味がなくなってしまう。この中で方向性を決めた上で、希望調査なり、必要があればアンケート調査を実施すればよいと思っているので、事前には取っていない。</p>
委員	<p>ありがとうございます。それで、アンケート調査は在校生に対してか。来年4月から小学校に入学する子どもの保護者に対しても当然アンケートを、そしてこの説明を実施していかないことには、在校生は移ったけど、次の1年生はドッと入ってきたということにもなる。</p>
事務局	<p>就学前のお子さんについては、8月から9月ぐらいには通知し、意向調査をしていこうとするのが、今回のスケジュールで示したものである。</p>
委員	<p>途中で転校となると、友達の関係とかでしたくないでしょうから、在校生よりも就学前の子どもさんに対してより働きかけるのが先決ではないかと思う。</p>
事務局	<p>それが資料4ページの「3 進め方」の「(3) 新1年生への意向調査」に記載している。新1年生については、入学前に意向調査をしていく。</p>
委員	<p>例えば、新1年生にしたら6年間になる。非常に大事な子どもの6年間を、たった何ヶ月かで決めるのか。この会議のメンバーを見て思ったが、PTAは3人しか入っていない。そして、これから就学する方の意見がここに全然反映されていない。この会議のメンバー構成を見て、疑問に思った。大事な小学校をいきなり2・3ヶ月で決定しろとい</p>

<p>委員長</p>	<p>うのは、少し気の毒だなど思うので、その辺も少し考えてあげて欲しいと思う。</p> <p>それとどこでも行けると、先ほどから話が出ているが、西山小で受け入れができるとは思えない。もう少し具体的な提案をしてもらわないと、どういう選択制がいいのかという議論も進まないのではないかと。</p> <p>西山小は800人でとても受け入れられない。でも、宝塚第一小学校は1,100人いる。今までほったらかしになっていて、みんなが何とかしないといけな思っていたが、全然立ち上がらなかった。今回はそんな中でスタートしており、色々な問題が山積しているのは事実だが、とりあえず短期的な方法として学校選択制の話がある。でも、ここに行ってくださいではなく、宝塚第一小で起こっている問題を解決するために、この学校選択制が大事な第一段階の取組として使えるということでスタートし、それからそれを深めていくという手順になる。だから、最初から高い目標で考えるより、今できることを考え、それから少しずつ現実的に、最終的に校区変更もある。学校の増築は面積上できないので。遠いところに目標があると思うが、とりあえず、皆さんに現状を認識してもらうために、これをやろうと。</p> <p>それともう一つお願いがある。市長と部長クラスが参加する都市経営会議で、一昨年から1回もこの議論が話題に出ていない。一小の問題だけでなく、170人しかいない小学校もある中で、学校問題として市がきっちりと対応すべきと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>同感である。先ほども事務局が、まち協から言われたから資料を用意したと言われた。これは、教育委員会も主体に立っていない。お金をもっていないから主体に立てないわけで、市の企画機能が動かないといけな。市がお金を使わずに、住民に移動してくれという話になっている。これが最悪なのは、登下校の手段が原則保護者の責任になっている。スクールバスを出すとか、お金を出さないと解決しないと思う。マンションを建てることに企画が反対しなかった。そこがお金を出すと言わない限り、この人はあっち行ってこっちに行ってとなつては、住民が爆発する。教育委員会には申し訳ないけど、力がない。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の話は、ものができてしまって、今の状態をきれいにしようと思っても難しいということで、ものができる前の川上の時に市として何らかの施策をうつべきではなかったかということをおっしゃっていると思う。例えば、先ほど話のあった隣町を見ると、開発指導要綱で、ここの地域の学校はこういう状態で受け入れが困難ですということをはっきり明示している。宝塚市は川上の問題をもう少し市として、教育委員会だけではなくて関係課と連携しながら、職員全員が知恵を出し、対応してもらいたい。市で施策をうたずに、我々・保護者に負担を求めて、出ていってくれと言っているようでは、正直なところ前に進まないと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>短期的なことを考えた場合、通学区域の変更で進めていくのが、今の段階ではベストだと思っている。そして、「3 進め方」の学校への説明の時に、近隣校のいいところについて、しっかり説明していくことをこの中に入れてもらいたい。</p>

委員	<p>私も同じような考えで、各校の魅力をアピールすれば、一小にこだわらない保護者の方は絶対いると思う。別にそれがわずかであっても、それで減ればいいことであって、私はこだわることではないと思う。</p> <p>それと、この計画自体、今年度というのはいきなりすぎるのではと思う。ここでこういう話が出て、皆さんが近隣で話をし、「来年かららしいで、えー何それ」みたいな話になると思う。もし、実施するならば、もう一年遅らすとか。そして、実施しても、結局マンションの方はそのまま一小で、近隣の方が出ていくというのはおかしいが、そういう形にならないか。</p>
委員	<p>平成 28 年に適正規模及び適正配置に関する基本方針 6 ページの「大規模校における適正化の手法」に 1 つ目が通学区域の変更、2 つ目が開発地域の通学区域の変更、それから、今、話をさせてもらっている通学区域の弾力的運用。この 3 つの方法があると思う。今は通学区域の弾力的運用の話があるが、細かいことが教育委員会で決まれば、この弾力的運用はできるということで物事が進んでいくと思っている。長尾小も 1,000 人を超えており、一小と異なる状況かもしれないが、どういう状況になっているのか。1,000 人を超えたら、教育委員会からこのような弾力的運用を全部やっていこうとしているのか、ここのところをお伺いしたい。</p>
事務局	<p>まず、開発地については、先ほども申し上げましたが、逆瀬川の山側において、開発段階で宝塚第一小から西山小へ校区変更をした。児童数の抑制で実際に変更した例である。あと、長尾小については、今後、宝塚第一小と同じように検討会を立ち上げ、その中で議論をしていく予定にしている。その中で、手法として弾力的運用が出てくるかもしれない。この一小の前に、中山台地区の検討会があり、小規模化が著しいということで、隣の山手台地域から希望される方は入ってきてくださいというような対応をしている。学校区の適正化について、この弾力的運用というのは、大体用いてきている手法の一つになってきている。あと、校区変更となると、大規模校の校区変更はまだした経験がないことから、今後それぞれの地域で必要があれば、校区変更の議論を進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>やはり問題を解決しようと思ったら、目標がないと駄目だと思う。年数的に目標を設定できないか。それで、達成・未達成したとかで、次の年度にやり方を変えてみてもいいのではと思う。</p>
副委員長	<p>短期的なことを止めておくということも、皆さんの認識が一致したらそうした方がいいと思うが、どうか。長期的なことを今から真剣に議論するならそれでもいいと思う。学校選択制ではなく、校舎を建てるとか、校区を割るとかという話を、みんなで本気で議論しようというのであれば、それはそれでいいと思うが、いかがか。</p>
委員長	<p>はっきり言うと、子ども達が本当に困っている。そんな時間はもうない。学校選択制以外に何かあるか。ただし、学校選択制だけでは問題解決にならないから、その間に次</p>

	<p>の手を考えると。それから申し訳ないが、校舎を建てることのできる場所は全くない。色々やりましたけど。分校を作るとか、学校をもう一つ作るとか、こういうのはできない。その条件の中で、皆さんに考えてもらいたい。</p> <p>校区選択制とか、親から地域から聞いた時に子どもはかなり動揺すると思う。その声を受け止めるのは私たちだし、子ども達にしっかりと説明していかなければならないと思っている。ここで校区の弾力的運用を決めるということであれば、骨子をしっかりと決めていただきたい。子ども達に説明をしていくということは、教職員も納得・理解させる必要があると思うので、教職員にもしっかりと伝えていきたいと思う。子どもは担任にどうなっているのか尋ねるので、その担任が子ども達に対して、どう返していくのかということも考えないといけないと思っているので、ここにいるPTAや保護者の方、地域の方と一緒に考えることができればと思っている。</p> <p>また、兄弟で学校が異なる場合に、お子さんに何かあった際のお迎えを保護者をお願いする時になかなか難しい問題も出てくるので、そういうところも保護者の方に理解してもらわないといけない。説明会も午前中と夜の二回開催するとか、説明会の実施方法についても配慮がいると思う。弾力的運用を進めるということであれば、学校として懸念していること、子どものケア、教職員への説明について一緒に考えてもらえればと思う。</p>
副委員長	<p>校長先生ご自身どうか。弾力的運用を実施した場合に懸念されることをおっしゃられ、自身は受けてやろうという気持ちはあるということをおっしゃっているのか。そういう風に聞こえたが。そのところ明確に、もしあるのなら、最後言ってもらいたい。</p>
委員	<p>もし、末広小と宝塚第一小が合併したらどうなるか。その辺の発想でいけば、宝塚第一小のグラウンドも持っていける。そして、生徒数の枠も大きく確保できるのではないかなど。</p>
事務局	<p>校区変更ですか。</p>
委員	<p>その捉え方は自由である。それはこれからの問題だが、まったく発想を変えて、そういう形であれば一気に解決できるのではないかなど、どういう問題が実際にあるのか分からないから、今はコメントが出来ないと思うが。</p>
副委員長	<p>長期的な話か。</p>
委員	<p>長期的かどうか分からないが、抜本的な解決になるのではないかなど。</p>
委員	<p>今日でこの会議は2回目だが、PTAから保護者に対して、現状何もしていない。今年度については、早い段階で、この適正化検討委員会について育友会だよりで説明しようと思っている。それはなぜかと言うと、市ホームページで議事録等を見ることができる</p>

	<p>が、保護者には一つも説明がされていない状況なので、そこは早い段階で説明すべきと思っているので伝えさせてもらう。今後、保護者から何かご意見等があった場合は、この場で共有させてもらう。</p> <p>委員 私としては、今日提示していただいたこの短期的な提案は、正直1年では難しいのではと思う。で、継続していくしかない。私が聞きかじった内容では、校区編成をしようとした時に、一小ブランドというものがある、例えば、家売る時に、一小校区でなくなったら売れなくなると。私は、校区編成して自分の子どもが違う学校に行っても構わないけど、周りの人が反対をされていて、賛成が言えなかったというの聞いた。そうになると、本当に正しい地域の声を集めることができるのか。と少し疑問に思っている。あと、教育委員会としては、まち協から依頼があって、こういう会を設けてますよという話があったが、市として、一小校区だけでなく、学校の教育環境を問題視しているかどうかどうしてもひっかかる。</p> <p>また、全国的に小・中一貫教育をしていこうという流れになっていて、小学校・中学校を一緒にしたものが全国的に増えてきていると思うが、宝塚市においても将来的にそういうところに差し掛かってくると思う。10年、20年、30年先に宝塚市として、それがどこまで、言ってしまうと、宝塚市は全国的にすごく遅れていると思っている。</p> <p>将来的なことばかり話しても仕方がないが、そして、この短期的に小さいことをやっていくしかないと思うが、この場限りの対策にならないのか不安に思っている。</p>
委員	<p>たぶん保護者は子どもがこれ以上入らない、教室が足りないということを知らないと思うので、まず、この説明を今年度中にアンケートなり、説明なりをやらないと、いつまでたっても進まないと思う。</p>
委員	<p>この会で、今日時点で、出た見解を一致させて欲しい。私たちは地域に出ていて、色々聞かれ、いい加減なことを言えないという立場でもあるので。</p>
副委員長	<p>皆さん、少しずつ異なっているが、未来型で喋っている。これらの質問に対してご見解を。</p>
事務局	<p>進め方の認識のところを最後お話をさせていただけたらと思う。なぜ見込みや計画がないのかということだが、実は、平成22年は議事録に記載されていることだけではない。その前段から色々なやりとりがあって、その後もやりとりは続いている。そうしたことを受けて、今、教育委員会側から具体的なプランを持たずに、これからは地域の方と一緒に考えていきたいと思いますという方向性になっているので、意図的にプランをこちらからお示しするのではなく、手法をお示しし、皆さん方の中で検討していただこうというのが、実は平成22年度からの流れである。平成22年度に関係のない皆さんからすると、それは少し理解できないとおっしゃられると思うが、平成22年度からの流れでいくと、皆さん方と協働で進めていくというのが、平成28年度の基本方針の最後に書かれている内容である。あれは平成22年度から議論がずっと続いていて、平成28年度</p>

に方針ができているので、途切れているというわけではない。平成 28 年度からいくつかの地域で取り組んできていて、一定の方向性がそれぞれ見えてきている。宝塚第一小もこの会議ができてきそうな方向性にきており、次のステージにというところで、小中一貫の取組も並行して考えていこうということから、平成 22 年度から学校区の在り方が止まっているというわけではない。あくまでも進め方は、協働で進めていこう、行政側が一方的に方針を持って押し付けないでいこうというのが、平成 22 年度の失敗を受けた教育委員会の反省にたった進め方である。そのため、この検討委員会の進め方も協働ということから、積極的な提案ではなく、教育環境適正化の手法としてこのような例があるということを示していくものと考えている。

それともう一つ、あくまでも適正規模校の範囲内の校区選択制だが、児童が 800 人いる西山小もいけるのかというと、これはわずかでもいける。というのは、学級編成というのがあって、35 人あるいは 40 人で一学級になる。例えば、30 人と 30 人で 60 人、2 学級ですから、35 人学級であれば、もう少し受け入れができる。また、学校の中で普通教室に転用できる教室があれば、その範囲内でも受け入れが可能になるので、人数制限を設けた上での受付は可能になってくる。

あと、通学区域の弾力的運用開始の時期、わずか数ヶ月で判断しないといけないという意見があったが、判断しないとという選択もある。必ずどこかの学校を選んでくださいということではなく、宝塚第一小に残ることも可能なわけである。行きたい方は申し出てもらい、考える時間がなくて答えが出ないのであれば、一小に残る。そういうことも含めて、今がスタート時期なのか、1 年後がスタート時期なのかというのはご検討いただきたいが、ただ、今年度適用させるのであれば、スケジュールであったように、もう動いていかないといけない。新 1 年生にも説明しないといけないし、保護者にも説明しないといけないので。今日結論が出ていないので、近いうちにもう一度、この会議を持つのであれば、まだ巻き返す余裕はある。来年度以降でよいということであれば、仕切り直しで一から議論ができるが、一定話を決めておかないと次回のスケジュールに影響してくると思うので、そういうことも含めて検討いただきたい。

副委員長

今、話があったが、この話を続けていくのか、どうするか。委員長が今日言い続けているのは、とにかく何かをしなければならぬということを言い続けている。

委員長

今できるとすれば、校区選択制をとりあえずスタートさせないといけない。それと、先ほど、押し付けという言葉がでたが、私たちはやはり市側に能動的に動いてもらわないと困る。市が通学困難地域ということ指定して、抑制するような働きかけをしなかったから、800 人が 1,100 人になった。この問題点については、やはり市に責任があると思う。で、反対した地元の住民についても、これをもう一回考える必要があると思う。だから、私は、市からあくまでご提案いただいた校区選択制の話に絞って、そこから深めて進めるしか、方法がないと思っている。もし、これがおかしいと言うのであれば、それに対する対案を皆さんから出してもらいたい。責任を持って。それがいいと思ったのであれば、それができると思う。今のは、委員長としての立場での発言だが、いかがか。

委員	<p>先ほど話があったが、保護者も学校の現状をどれだけ認識されているのかというのが、分からないなというところもあるので、まず選択制というものを考えていると提示することからスタートするのが、一番必要ではないかと思う。それを来年度に持ち越したところで、結果は同じなので。まず、今はこういうことを考えて、問題提起としてこういうことが出されているということを表面化させるのが、現時点で一番重要ではないかと思うが、いかがか。</p>
委員	<p>アンケートをとるのもいいのでは。多かったら今年度から進めていけばいいでしょうし、あまり少なかったらもう少しじっくり議論をしていくということで。少ないのに動いても仕方がないと思う。</p>
委員	<p>とりあえず、表面化させる、載せるということが。</p>
副委員長	<p>選択制のことをしっかり出すことによって、保護者の方がみんな行かなかつたら、そこに答えが出てしまうと思う。アンケートをとって、反対が出たらなくなるということになると。</p>
委員	<p>そうではなく、今おっしゃっているアンケートは、学校を選択して他に行けるとしたら動いてみようと思いますか、どうですかというアンケートだと思う。だから、保護者の方に学校がいっぱいだから、その場合考えますかという、その考えるという人が0やったらね。</p>
委員	<p>もう少し議論したらいいと。今すぐなのか、もう少しじっくりなのかという、やる・やらないではなく。</p>
委員	<p>アンケートをとる場合、宝塚第一小の現状を知ってもらった上でアンケートをしないといけないと思うが、このスケジュールということであれば、もう4月末だが、間に合うのか。5月ないしは6月の説明で理解を求めるとあったが、どのように理解を求めるとか。先ほど話があったように、他校に行くメリットやQ&A等何でもいいと思うが、そういう中身をプレゼンできるような内容が果たして作れるのかどうか次第だと思う。私は、今、これを急いでやることはないと思ってはいる。ただ、アンケートをとるのも、今言われたように現状を理解してもらわないといけないので、その時間がこのタイミングでとなるとないのかなと思った。</p>
事務局	<p>それはどこへの説明。地域の説明。</p>
委員	<p>「3 進め方」の(1)で5月～6月に学校長・PTA・地域への説明と理解というのを、6月に始めたとしても、それまでにどういった内容で保護者に理解してもらおうかという準備ができるのかどうか、私にはイメージがわからない。</p>

委員	(1) は相手方の学校ではないのか。
委員	「地域（まち協、コミスク）」とある。
委員	どういう形であってもきちんとした内容をつめておかないと、よくないと思う。その内容はここで決めないといけない。
委員	説明する内容は、私たちは誰に聞かれても同じ内容で答えないといけないと思う。個々人の考えがあったとしても。
委員	選択制で、どういう風に学校に行くのかとか、色々な意見が出てきている。そういったことの具体まである程度用意していかないと、できないのではと思う。
委員	ここで議論している私たちと、初めて聞く人たちと温度差はかなりあると思う。教職員については、ホームページに出ている内容程度は職員会議で話そうと思う。これが地域の方の耳に入っていった時に、担任からも個人的な主観で話をするのではなく同じような答えができるようにと考えた場合、非常にデリケートな問題なので、少し時間的にはタイトかなと思う。骨子を決め、それを説明していきアンケートをとるにしてもそれが独り歩きし、混乱が生じるような気がする。影響を一番受けるのは子どもと思うので、そこはやはり避けたい。できれば、こういうたくさんの人間で集まるのもあれなので、この中で執行委員みたいなものを設け、そこで話したことを検討委員会に報告し、話をするのも一つかなと、時間的にかなりタイトだが。
副委員長	どうでしょう。
委員長	<p>今父兄の皆さんが、現状がこうなっているんだということを知らない方もいらっしゃるということだから、問題を解決するために、私たちが考えないといけないということの問題提起し、その問題提起を今この検討委員会でしているということをアナウンスして進めていったらどうか。</p> <p>そして、教育委員会がこのノウハウをもっているわけだから、その辺りのハンドリングを教育委員会に。いつも住民が主体となってという主語を使わずに、リーダーシップをとって、やはり我々を引っ張っていくということが大事だと思う。私たちは当事者であるが、部外者でもある。教育委員会は、正に一丁目一番地でハンドリングする、つまり、市長・副市長、学校の校長先生とそういう方がやるわけですし、そこら辺はやはり考えていただかないと、この話はまとまらないと思う。</p>
事務局	もちろんそこは思っていて、実際、弾力的運用の説明とか実務はこちらがしていくので、対象地域をどこにするとか、方向性をここで決めていただけたら、あとは事務局で具体をつめていくのは当然と思っている。ただ、会議を5月中のどこかで開かせていただいで確認だけはさせていただけたらと思う。同時並行的には動いていくと思うが、5

	月に第3回目を開くのかどうかといったところを皆さんのご都合も含めて聞かせただけたらと思う。それで方向性は弾力的運用で進めていくということであれば、次回には、具体的にご説明をできればと思っているが。
副委員長	そういう方向でいいか。とりあえず、この議論を進めていくと。
	～反対意見なし～
副委員長	これだけ話して、この結論ですが、みんなが熱く思っているということを分かっていたきたい。
事務局	あと、もう一点、アンケートの結論がまだ出ていないと思うが。
副委員長	アンケートについては、実施するにしても政策委員会の方で作って、話し合う段取りがいていると思う。
委員長	アンケートは時期尚早と思う。
副委員長	アンケートについては時期尚早ということによろしいか。
	～反対意見なし～
事務局	5月の日程については改めて調整させていただく。
事務局	自治会とかPTAで委員の変更とかあると思う。メールでまた確認させていただくのでよろしく願います。
	【5 閉会】